

1 級河川「球磨川」流域の支援活動の記録

「支援協力団体」

「村長室」 球 磨 村 役 場

「協力者」

- 1、村 長 松谷 浩一氏
- 2、議 員 嶽本 孝司 村会議員

「支援防災士会」 熊 本 県 支 部

「大雨豪雨災害地の被災者防災士」

- 1、防災士 今村 正道
- 2、〃 白石 忠志

「令和2年7月 の被災者2名」

※ 災害支援活動を、人吉市・
球磨村の被災地に計4回
実施

支援活動の防災士

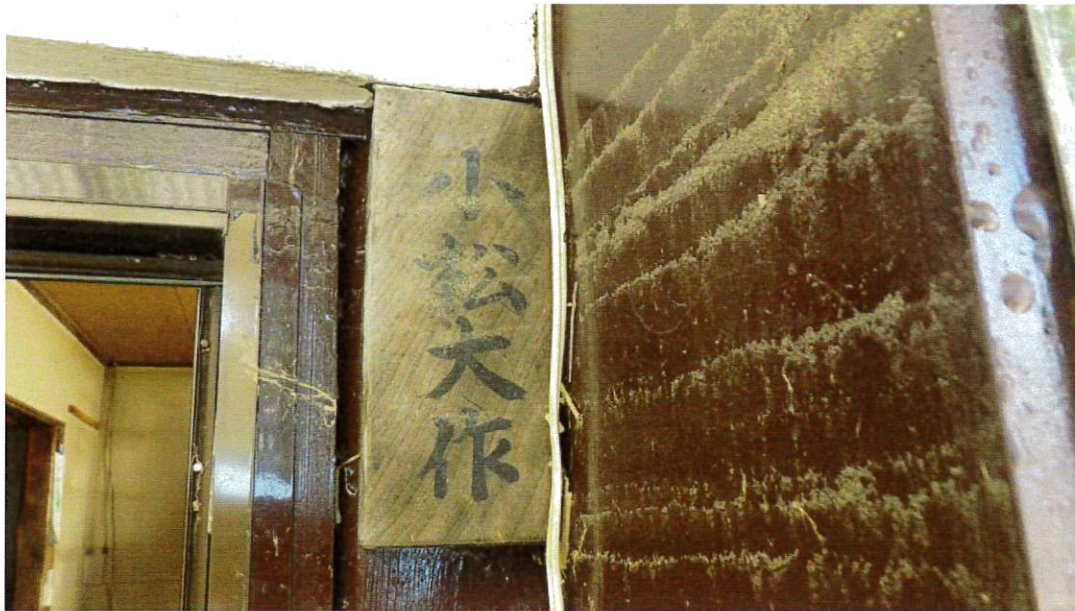
- | | |
|-------------|------------|
| 3、支部長 宮下 正一 | 7、〃 林 澄夫 |
| 4、理 事 福本 雅子 | 8、〃 田村 彰久 |
| 5、防災士 上田 純市 | 9、〃 山内 幸生 |
| 6、〃 飯迫 浩 | 10、〃 工藤 清子 |

「球磨村」村長室にて

村長
松谷 浩一氏

村議会議員
嶽本 孝司氏





人吉市
被災した小松宅
表札と壁が泥土で
汚れており、水没した
跡が確認される



小松宅の
押し入れの
片付けを行う
前の状況



押し入れを
片付けている
上田防災士
(県会員)



「球磨川」の
濁流で被害に
合い、「座布団」
を防災士の
山内・工藤(女性)
が片付けて
いる風景



被災者宅の
「箆笥」を産廃
場所へ運搬し
ている白石・田村
防災士



洋服箆笥内
を片付け中の
上田・飯迫
防災士



被災家屋内の
台所が浸水被害
を受けて散乱して
いる状況
(正面に鍋蓋、
調理器具類、
布巾、ポリタンク、
バケツ等
が散乱している)



箆笥を出して
片付中の
山内・上田・白石
防災士



球磨川河川敷の
産廃仮置き場
運搬距離は
約 7 0 m
離れていた。



夏の猛暑の中
気温 38℃
の晴天時の
ボランティア活動
中の立ったままでの
休憩状況



宅内の堆積した
廃土を土のう袋
に詰め込み
中の工藤（女性）
防災士



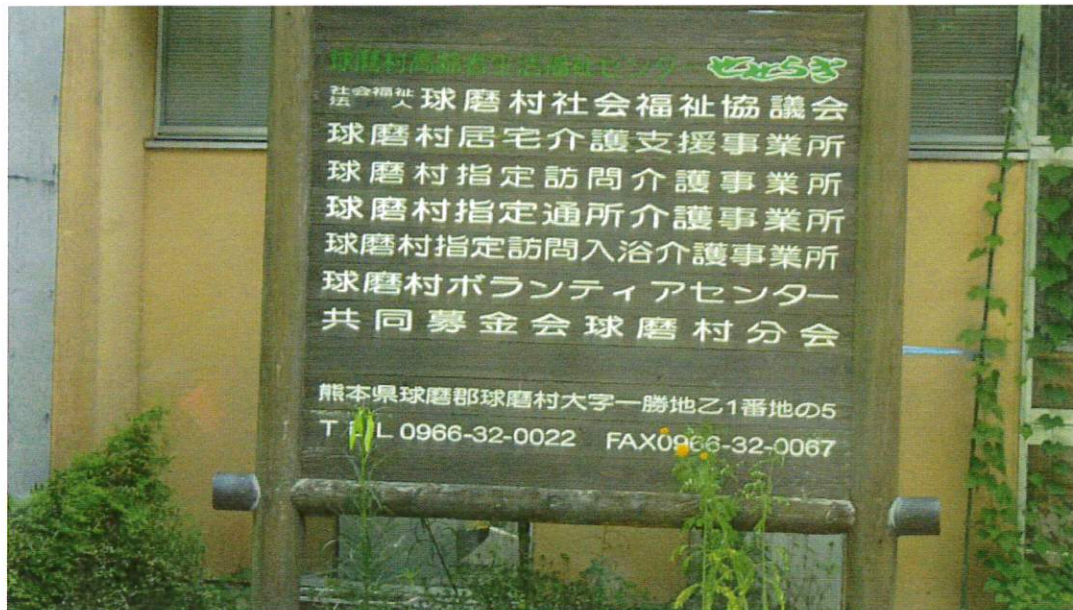
地元の白石・工藤
(女性)
防災士も共同で
ボランティア活動
を手伝っての
作業状況



一級河川
「球磨川」
上の線路の状況



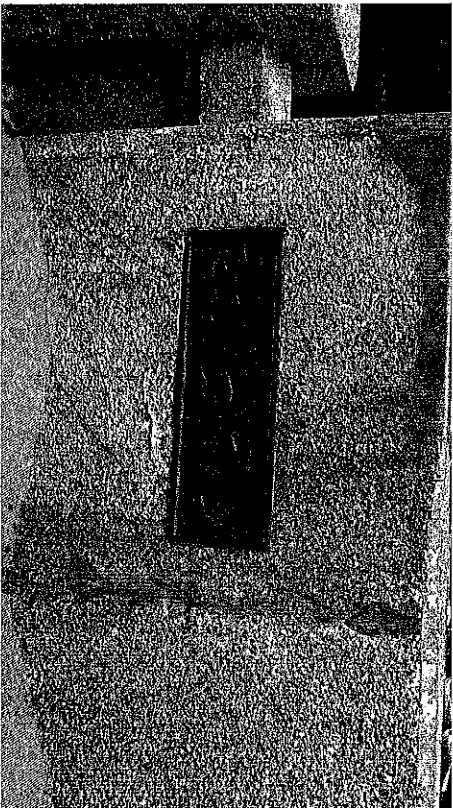
JR肥薩線
線路上に
約60m以上
堆積している
状況で今現在も
不通となっている



球磨村高齢者
福祉センター
せせらぎ前の
村内各施設
の案内板



人吉市内の
被災者宅で
福本防災士
が「支援物資
(タオル、
肌着、靴下、
ティッシュ1箱)」を
被災者に手渡して
いる状況
福本防災士



右岸設置の

「さからばし」

の橋名板



「球磨川」下流に

濁流で流された

「相良橋」(さかから)

の崩壊状況

アーチ部が

下流右岸に

流されて
破損していた。

破損していた。



茶屋地区の

被害状況を視察

21727

(左)

飯迫防災士

工藤 夕 (女性)